

## 平成29年度コミュニティバス運行実績

## ■利用者数

単位：人

年度	落合・神坂		阿木	坂下・山口		加子母	付知	福岡	蛭川	合計
	落合	神坂		山口	坂下					
H24	2,495		2,215	16,501		3,198	2,832	4,606	1,840	33,687
H25	2,379		2,144	15,265		3,678	2,260	4,276	1,797	31,799
H26	2,099		1,892	13,116		3,537	2,162	4,147	1,677	28,630
H27	1,840		1,121	647	10,629	4,433	1,488	3,485	1,127	24,770
H28	802	230	792	567	11,058	4,132	2,233	3,213	600	23,627
H29	989	232	711	313	10,580	4,792	2,048	2,821	803	23,289

## ■運行便数

単位：便

年度	落合・神坂		阿木	坂下・山口		加子母	付知	福岡	蛭川	合計
	落合	神坂		山口	坂下					
H24	1,265		894	6,125		588	942	1,026	780	11,620
H25	1,261		900	6,100		588	858	1,020	764	11,491
H26	1,244		888	4,986		584	720	1,024	768	10,214
H27	1,316		900	449	3,763	586	715	1,030	1,023	9,782
H28	1,185	142	882	400	3,888	586	883	1,032	1,385	10,383
H29	565	149	666	270	3,888	584	738	1,020	1,001	8,881

## ■1便あたりの乗車人数

単位：人／便

年度	落合・神坂		阿木	坂下・山口		加子母	付知	福岡	蛭川	合計
	落合	神坂		山口	坂下					
H24	2.0		2.5	2.7		5.4	3.0	4.5	2.4	2.9
H25	1.9		2.4	2.5		6.3	2.6	4.2	2.4	2.8
H26	1.7		2.1	2.6		6.1	3.0	4.0	2.2	2.8
H27	1.4		1.2	1.4	2.8	7.6	2.1	3.4	1.1	2.5
H28	0.7	1.6	0.9	1.4	2.8	7.1	2.5	3.1	0.4	2.3
H29	1.8	1.6	1.1	1.2	2.7	8.2	2.8	2.8	0.8	2.6

※平成26年10月から山口・坂下地区を分割（平成26年度分の集計は合算）

※平成27年10月から落合・神坂地区を分割（平成27年度分の集計は合算）

※平成27年10月から全地区有償化を実施

## ■コミュニティバス利用者数の考察と対応

地区	利用者数（人）		取り組みと考察（◇） 今後の対応（◆）
落合	H28	802	◇地域意見を反映した路線・時刻の改編を実施した結果、利用者数の増加につながる。路線不定期運行から区域運行への見直しを実施。 ◆地域・運行事業者の意見を聞きながら推移を観察。
	H29	989	
	増減	23%	
阿木	H28	792	◇人口減少に伴い利用者数が減少。新規の利用者が増えない課題がある。 ◆幹線交通である明知鉄道との接続を考慮した時刻改正を実施する。継続して地域住民に向けた情報発信を行い利用促進を図る。
	H29	711	
	増減	-10%	
神坂	H28	230	◇前年度の利用者数を維持。路線不定期運行から区域運行への見直しを実施。 ◆今後も地域・運行事業者の意見を聞きながら推移を観察。
	H29	232	
	増減	1%	
山口	H28	567	◇運行地区内の人口減少に伴い利用者数が減少。路線不定期運行から区域運行への見直しを実施。対象の自治会へ出向いて利用方法の説明会を実施。 ◆今後も地域・運行事業者の意見を聞きながら推移を観察。
	H29	313	
	増減	-45%	
坂下	H28	11,058	◇利用者数は微減しているものの、地域の足として浸透しており、安定した利用がある。 ◆坂下病院でバス運行情報をお知らせする実証実験を実施するなど利用者の利便性を高める取り組みを行う。
	H29	10,580	
	増減	-4%	
加子母	H28	4,132	◇地域の足として浸透しており、安定した利用がある。利用者増加対応として、10人乗り車両から14人乗り車両へ更新。地域の要望を受け、道の駅へ停車する改編を実施。 ◆今後も利用者の動向を注視していく。
	H29	4,792	
	増減	16%	
付知	H28	2,233	◇時刻の改正を実施。学童便を利用する小学生が増加したものの、頻繁に利用していた一般利用者が施設へ入所されたことが要因で全体として減少。 ◆主な利用目的である買い物がしやすい時刻への改編を検討していく。
	H29	2,048	
	増減	-8%	
福岡	H28	3,213	◇人口減少、利用者の施設入所等に伴い利用者数が減少。 ◆老朽化したマイクロバス車両からワゴン車両へ車両を更新予定。四輪駆動車両となり、山間部の降雪地域での運行も乗客が安心して利用できるようにする。
	H29	2,821	
	増減	-12%	
蛭川	H28	600	◇地域意見や運行事業者の意見を反映し、路線・時刻の改編を実施した結果、利用者数の増加につながる。 ◆地域懇談会などを開催し、地域にふさわしい公共交通のあり方を地域住民と共に検討していく機会を設ける。
	H29	803	
	増減	34%	
計	H28	23,627	◇運行地区内の人口が減少傾向にある中、利用者数は微減にとどめることができた。 ◆高齢者人口は増加しているが、免許所持率も同じく増加している。地域の足として必要最低限の公共交通の維持が必要であり、今後も地域・事業者の意見を聞き地域の実情に合った改善を図る。
	H29	23,289	
	増減	-1%	